

4月23日、平成20年度事務担当者会議が、東京都・ホテルルポール麹町を会場に、45都道府県、53名の出席者を得て開催された。

中込三郎全専各連会長のあいさつに続き、寺門成真文部科学省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、配布資料に基づき、①専修学校の振興に関する検討会議概要報告、②専修学校関係予算、③建築士試験の受験資格要件（学歴要件）の見直し等について説明を行った。

次に、事務局が配布資料に基づき、全専各連関連として①全専各連第106回理事会報告、②公益法人制度改革、③1条校化推進運動、④全専各連の会費の取り扱い、⑤広報活動、⑥全専各連第57回定例総会(役員改選の手続き)等について説明した後、検討会議の審議状況等について質疑応答が行われた。

小憩後、専教振関連として①専教振第94回理事会・第64回評議員会報告、②新任教員研修、③CSM講座、④教職員・学生生徒表彰の事務処理、⑤全国専修学校総覧の刊行、⑥保険事業、⑦検定事業等について説明を行った。

その後、寺門室長から教育振興基本計画について説明が行われた後、日本私立学校振興・共済事業団より特定健診、特定保健指導について説明が行われた。

最後に、事務局より配布資料に基づき、各県における学生支援にかかる取り組み、厚生労働省関連事項(ジョブカード、公共職業能力開発施設をめぐる動向)について説明が行われ会議を終了した。

引き続き別室で懇親会が開催され、各都道府県間で活発な情報交換が行われ全日程を終了した。